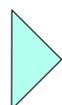


(2) 区民ワークショップの開催結果

1 区民ワークショップの実施概要

	一般			こども
開催日時	令和6年 7月27日（土） 13:00～15:30	令和6年 8月3日（土） 13:00～15:30	令和6年 8月6日（火） 18:00～20:30	令和6年 8月1日（木） 13:00～15:30
開催場所	池上会館 集会室	オンライン開催	大田区民ホール・ アプリコ 展示室	大田区民ホール・ アプリコ 展示室
対象	区内在住・在勤・在学の高校生以上			区内在学の 小学校5年生～ 中学校3年生
募集方法	公募（区ホームページ、区公式SNS、チラシ配布等で周知）			
参加人数	51人	24人	38人	10人
参加者内訳	○学生 25人 ○外国人 7人 ○その他 81人			小学生 5人 中学生 5人

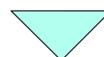


合計 **123**人参加（一般113人 こども10人）

2 区民ワークショップの流れ

第1ラウンド

- 「大田区の「魅力・満足している点」と「課題・不満である点」は何ですか？」



希望する基本目標のテーブルへ移動

第2ラウンド

- 「大田区の「魅力・満足している点を伸ばす取組」と「課題・不満である点を解決する取組」は何ですか？」



第3ラウンド

- 「大田区が行うべき重要な取組は何ですか？」



発表
振り返り

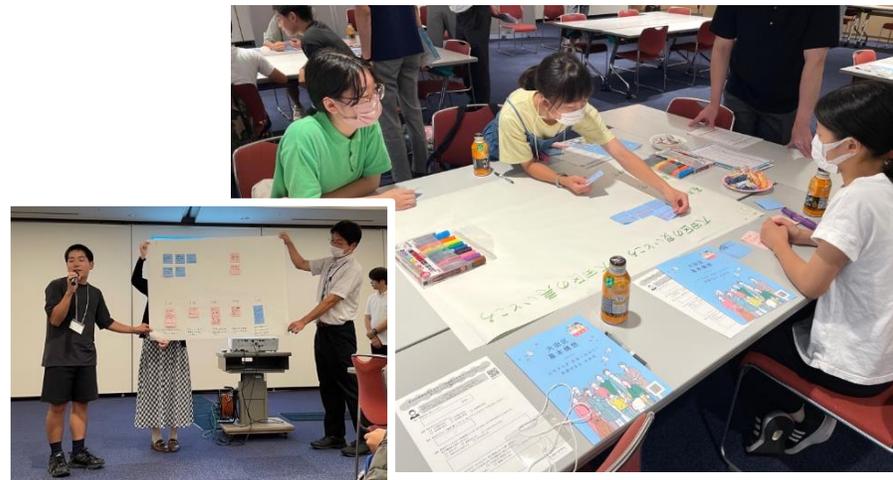
- グループごとに話し合った内容を発表。
- 基本目標ごとにグラフィックレコードによる振り返り。

3 区民ワークショップの様子

一般向けワークショップ



こども向けワークショップ



グラフィックレコード



大田区
OTA CITY

未来を創り出す子どもたちが
夢と希望をもって健やかに育つまち

2024.
7.27

1 大田区の良ところ

- 羽田空港
- 文化と自然
- お泊りので
- 羽田空港の多岐用途の充実
- 羽田空港の多岐用途の充実
- お泊りので
- 羽田空港の多岐用途の充実

大田区の課題

- 子育て世代の増加

2 良いところを伸ばす取組

- 子育て世代の増加

課題を解決する取組

- 子育て世代の増加

3 大田区が行うべき重要な取組

グループ1-1	グループ1-2	グループ1-3
<p>基本は人！ どの手段も人が関与する</p> <p>子どもの目標が必要</p> <p>教員給与を上げる</p>	<p>家庭環境による経済的差なし</p> <p>教育・保健関係者働き方改善</p> <p>時代に対応できる人材教育多様性が受け入れられる社会</p>	<p>教育関係の人員を増やす</p> <p>子育て施設備品の充実</p> <p>地域のつながり場を増やす</p>

大田区 まとめ

地域のつながりの中で、みんながこどもを育む。こどもを育てるには、こどもに関わる人の「働く環境の支援が必要！」



4 区民ワークショップの結果概要①

●区が行うべき重要な取組（基本目標1）

○一般（7月27日 池上会館）

- 教育・保育に従事する人の給与、**労働環境を改善**する。こどもを見守る**人材育成**をする。
- 家庭の経済格差がこどもの教育環境に影響しないよう支援する。
- **子育て施設の備品を充実**させ皆が行きたいと思う施設にすることで、**コミュニティとしてのつながりをつくる**。

○一般（8月3日 オンライン）

- こどもが**安全にのびのび過ごせる居場所づくり**に力を入れる。
- **DX化を推進**することで、手続きを簡素化し利便性を高める。また、必要な情報にすぐつながれるようホームページの改善や情報発信方法を検討する。

○一般（8月6日 大田区民ホール・アプリコ）

- **教育**に関する予算や、**子育て支援**を充実させる。
- こどもの意見を反映させるため、**こども会議を開催**する。
- **ボール遊びができる公園**等を充実させる。

○こども（8月1日 大田区民ホール・アプリコ）

- **先生の給料を上げる**。先生になるメリットをつくる（先生も給食無料で食べられる等）。
- タブレットを使用する授業が今後増えるため、先生がタブレットに慣れる。
- 誰もが通いやすくするため、**校舎のバリアフリー工事**を進める。
- 自主学習する場が少ないため、**学校で放課後勉強できる時間をつくる**。

4 区民ワークショップの結果概要②

●区が行うべき重要な取組（基本目標2）

○一般（7月27日 池上会館）

- 区の活動やイベント等の情報を、こどもから高齢者まで幅広く届けるため、**周知の方法や仕組みを改善**する。
- 年齢や国籍等に関係なく、**様々な人と交流できる機会や場所を増やす**。
- **歴史に触れる機会を増やし**、地域の人々の学びや観光につなげる。

○一般（8月3日 オンライン）

- 車いすやベビーカーでも通りやすい道は全員にとって使いやすく、防災にもつながるため、**道路の段差解消や無電柱化**を進める。
- **まちをきれいにするための意識啓発**を行いながら、その一手段として、はねぴよん健康ポイントを活用したプロギング（※）等、**健康やスポーツにもつながるものを取り入れる**。

※ジョギングをしながらごみを拾うこと

○一般（8月6日 大田区民ホール・アプリコ）

- **人と人とのつながりの創出や、地域の魅力のアピール**（文化資源等）につながるような**イベントを継続的に開催**する。
- 高齢者と若者のマッチングや、こどもから高齢者まで触れあえる施設の整備、空家の高齢者施設への転用等、**個別のニーズにあわせた支援**を進める。

○こども（8月1日 大田区民ホール・アプリコ）

※グループなし

4 区民ワークショップの結果概要③

●区が行うべき重要な取組（基本目標3）

○一般（7月27日 池上会館）

- 商店街の活性化や個店の支援、空き店舗の活用などで区の魅力を更に伸ばす。
- ごみ出しルールの周知やカラス対策を行い、まちをきれいに保つ。
- 羽田空港からのインバウンドを逃さないよう、商店街等の魅力発信に更に力を入れる。

○一般（8月3日 オンライン）

- 年齢や属性など特性に合わせた情報発信をする。
- ものづくり産業の活性化のため、マッチング支援等で後継者不足を解決する。
- 区民の声を施策に反映することで、区民の区政への参画意識を醸成する。

○一般（8月6日 大田区民ホール・アプリコ）

- 商店街、銭湯、グルメなど区の魅力を区内外へ発信し、区民にも区の魅力を再認識してもらう。
- 羽田空港がある強みを活かし、観光客に向けた区の魅力発信を強化する。
- 商店街の活性化、企業のDX推進、企業の事業承継など、区内産業への支援を行う。

○こども（8月1日 大田区民ホール・アプリコ）

- ごみ収集の頻度を増やす、ごみ拾いボランティアの呼びかけ等でまちをきれいに保つ。
- 商店街や銭湯、個店などの区の魅力を、駅や羽田空港で宣伝するなどでもっと伝える。
- 新しい観光施設を作るなど、新しい区の魅力も作り、外国人にも区を知ってもらう。

4 区民ワークショップの結果概要④

●区が行うべき重要な取組（基本目標4）

○一般（7月27日 池上会館）

- 防災・防犯対策のイベントを開き、その取組をWebなどで広く発信する。
- 小・中学校などで自転車の乗り方や交通ルールを広く伝え、こどもの事故を減らす。
- 商店街や公園など、魅力的な資源が点在しているのもっと区内交通を改善する。

○一般（8月3日 オンライン）

- 蒲蒲線の開通を含めた区内交通の改善。
- 大田区の魅力を発信するとともに、ごみの問題や治安などの悪い面は解消を進める。
- 防災への危機感が足りない地域もあるため、防災知識の啓発や情報発信を強化する。

○一般（8月6日 大田区民ホール・アプリコ）

- 犯罪の取り締まりや防災活動など、区民の生命に関わる取組を強化する。
- 交通不便地域の解消のような民間のビジネスにならないところへ支援を進める。
- 利用しやすく災害に強い公園づくりや美化活動を推進する。

○こども（8月1日 大田区民ホール・アプリコ）

- 住宅街やビルが多く身近に自然が感じられないため、自然を増やす取組を進める。
- 野球やサッカーなど、様々な球技ができる公園をつくる。
- デマンド交通をより便利な形態にして再運行したり、自動運転バスを導入するなど、区内交通をより便利にする。